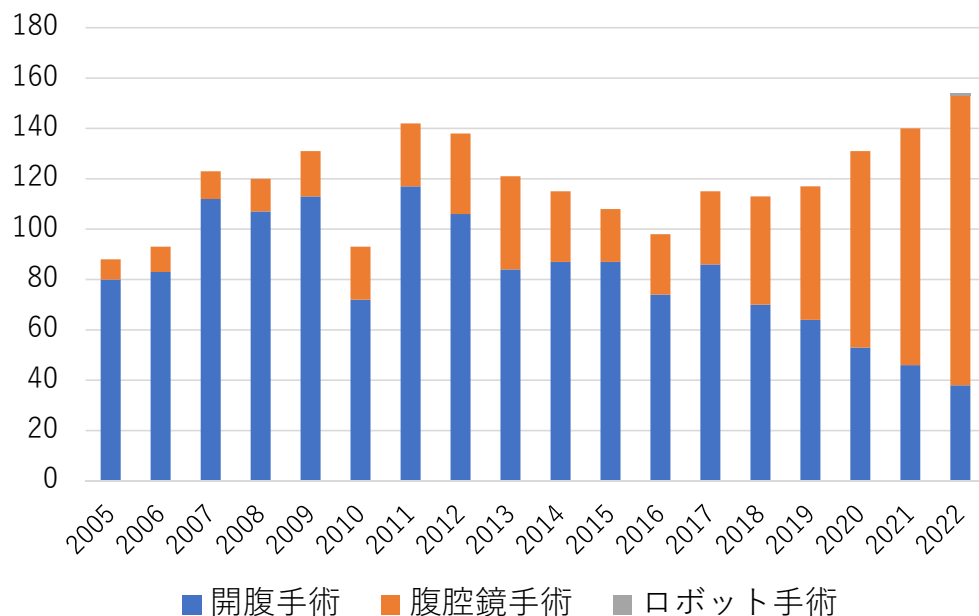


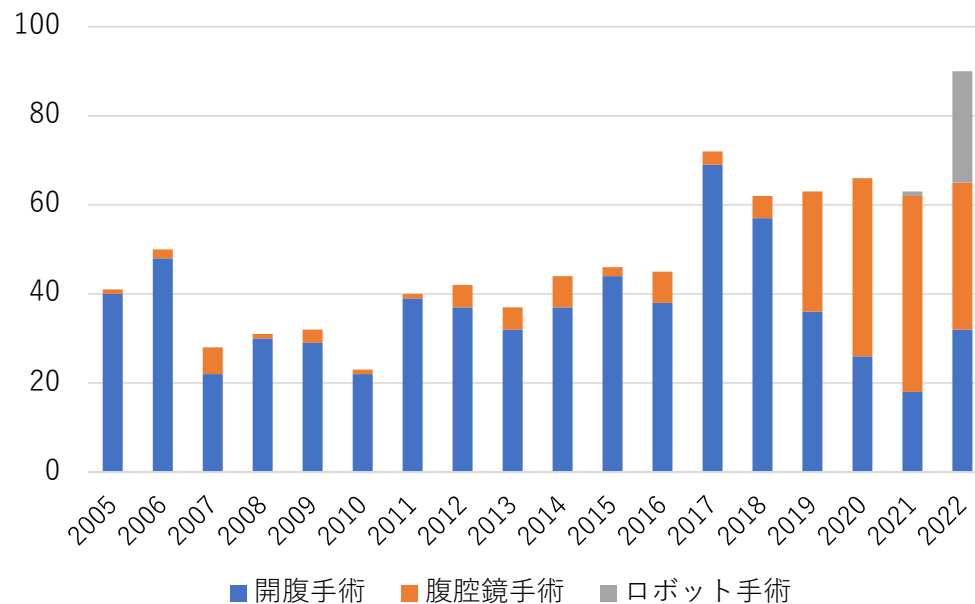
熊本大学消化器外科における肝切除、膵切除件数の推移 (2005-2022)

肝切除数の年次推移 (n=2140)



腹腔鏡下肝切除 660件
(2022年低侵襲肝切除率 75%)

膵切除数の年次推移 (n=875)



低侵襲膵切除 219件
(2022年低侵襲膵切除率 64%)

肝切除 2022年 154 件

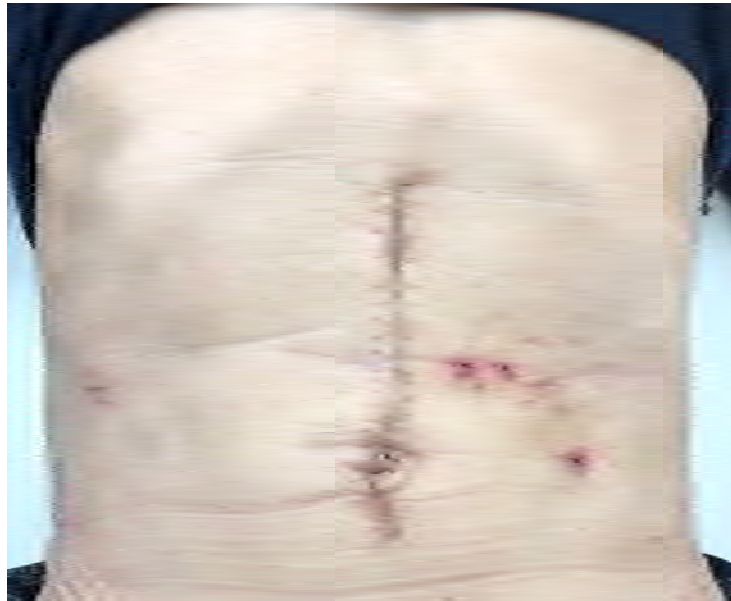
膵切除 2022年 90 件

2022年に肝胆膵グループでは**肝切除154件**・**膵切除90件**と肝切除、膵切除ともに**過去最高の年間件数**を行いました。

肝切除の75%、**膵切除の64%**で腹腔鏡もしくはロボット手術が行われ、低侵襲手術の割合が年々増加してきています。

低侵襲手術（腹腔鏡・ロボット手術）のメリットである傷が小さいことによる体への負担軽減（写真参照）と早期退院、早期社会復帰が提供できますよう心がけています。

開腹膵頭十二指腸切除



ロボット支援下膵頭十二指腸切除

